

"Eterna flame"
"たまひび"
"たまフラ"

高橋美千子 soprano
佐藤亜紀子 lute
shezoo piano

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2022 05月05日 (祝木)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無) (1drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



佐藤亜紀子

リュート奏者。ソロ活動のほか、通奏低音奏者として、歌手や器楽奏者とのアンサンブル、バロックオペラ等多数出演。ジョン・ダウランドの歌曲を中心に演奏する「セプンティアーズコンサート」、中世音楽を演奏する「メネストレッコ」、ヴィヴァルディの作品を中心に演奏するアンサンブル「ラ・ストラヴァガンツァ東京」、「ディスコルシムジカーリ」、「エクス・ノーヴォ」に通奏低音奏者として共演。2018年よりパリ在住の歌手高橋美千子との古楽ユニット「たまひび」の活動を開始し、去年CD「たまひび」をリリース。ソロの録音では「ララバイ、イギリスルネサンス期のリュート音楽」(2014)。来年にはアレサンドロ・ピッチニーニの作品を集めたCDを発売予定。コロナ禍において積極的に演奏動画をyoutubeにあげている。アトリエ楽古
www.atelierlakko.com

高橋美千子

パリと東京を中心に、ルネサンスから現代音楽・民族音楽まで幅広いジャンルを歌う国際派ソプラノ。パリ地方高等音楽院古楽科にてバロック歌唱をハワード・クルックに師事。オペラやバロック宗教作品を得意とする傍ら、海外での現代作曲家からの委嘱作品初演、またヴェネツィア・ピエンナーレなどで現代美術アートとの実験的なコラボレーションなど、古楽で培った解釈を用いながらも現代に通じる演奏を常に探求している。

shezoo

16歳でミュンヘン国立音楽大学に入学。情景や映像を喚起させるアーティストとして多様な形で音楽を生み出す。その音楽は美しく、懐かしく、妖しい世界へと聴くものを誘う。CM、映画、舞台の作曲、アートとのインスタレーション。バンドとしては「トリニテ」「透明な庭」「夜の音楽」「砂漠の狐」「倭文織」「Loco por ti」他に参加、様々なアーティストとの共演、楽曲提供を行う。2018年絵画、朗読、音楽によるアンデルセン「絵のない絵本」、夏目漱石「夢十夜」の制作、音楽監督を担当。2021年2月に上演された「マタイ受難曲 2021」の企画、編曲、脚本、音楽監督を担う。オリジナル作品を集めたアルバムとして「nature circle」「月の歴史」「神々の骨」「prayer-sabato santo-」「Invisible Garden」および音楽担当映画、舞台のサウンドトラック、DVDのリリースがある。 shezoo.cocolog-nifty.com